

広域化に関する基本指針が示され、来年度中に県において消防の広域化推進計画を定め、この推進計画策定後5年度以内を目途に、消防の広域化を実現することになっていきます。

現在のところ、広域化の規模については、基本指針において管内人口おおむね30万人以上の目標が示されていますが、広域対象市町村やその組み合わせは、これから調査検討の段階です。



市民の生命と財産を守ります

③相手が深刻な苦痛を感じているもので起こった場所は学校の内外を問わない」ととらえています。 「個々の行為がいじめに当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて留意する必要がある」としています。

いじめは、人間が集団生活を行う中で自然に生まれてくるものであり、子ども、大人、集団の規模の大小を問わず、どのような集団の中でも発生するものととらえています。 そういった意味で、本市の小中学校において、「いじめは、どこでもいつでも起こり得る」という認識の下、早期発見・早期対応に努めているところです。

現在、いじめととらえられるもの、放置しておくといじめに進行していくおそれのあるものなどを含めると、すべての学校で生徒指導上の課題があります。

そうした課題に対し、被害を受けている児童生徒の保護を第一に考え、学校としてできる範

教育委員会部局

■小中学校で教育ネットワークを整備

市内の主な公共施設・小中学校は、合併前に設置した光ファイバーで結ばれ、ネットワークが整備されていますが、現在の教育指導に耐えうるものではありません。

また、独自のネットワークを構築しておらず、セキュリティ対策も十分ではありません。 そのようなことから、既存の光ファイバーを利用し、小中学校や教育委員会を結ぶ専用のネットワーク（教育ネットワーク）を構築します。

これにより、セキュリティ対策をセンターサーバー方式により効率的に一括管理し、市内の小中学校で、合併前に旧町ごとに導入していた教育用コンテンツについても、基本的なソフトを統一し、セキュリティ対策と同様にセンターサーバーから配信するなど、市内を均一環境に

します。 また、機器・校内LANの整備状況も格差があったため、全てを整備することで学校間の均衡を図っていきます。

■吹き付けアスベストの使用実態を再調査

吹き付けアスベストなどの対策については、昨年度は国から指示があった「含有率1%以上の基準により市内の教育施設を調査し、その結果が含有率1%以上の施設について除去工事を実施しました。

しかし、国の「労働安全衛生法施行令」や「石綿障害予防規則」などが一部改正（平成18年9月1日施行）され、「含有率が0.1%を超え、かつ1%以下」の対象基準で、早急に使用実態の再調査依頼があったので、調査委託を実施しています。

■小中学校校舎の耐震診断の優先度調査を実施

小中学校校舎の耐震診断・補強工事は、現在、旧耐震基準の建物（非木造の2階建て以上ま

しました。

■スポーツ立市を目指し、瀬戸内市スポーツ振興計画を策定

本市のスポーツ振興の指針となる「瀬戸内市スポーツ振興計画」が、スポーツ振興審議会での審議を経て、策定されました。 「スポーツ立市」を目指す本市として、計画の実践に向けて体育指導員をはじめ体育協会などのスポーツ団体関係者と連携を図りながら、事業の推進に取り組んでいきます。

■瀬戸内市美術館建設に向けた準備

牛窓を拠点に画業に専念した、故佐竹徳画伯の作品を展示する美術館の開館に向け、瀬戸内市美術館準備委員会を4回にわたりに開催し、協議を重ねてきました。

11月21日に準備委員会委員長から、その基本構想が教育委員会に答申されました。

今後は、この答申内容を十分検討するとともに、財政部局と協議しながら美術館の建設に向け慎重に準備を進めていきます。

■全国生涯学習フェスティバルで生涯学習の成果を発信

来年度、11月2～6日の5日間、岡山県総合グラウンドを主会場とし、全県下の市町村参加のもと、「第19回全国生涯学習フェスティバル」が開催されます。

これまで取り組んできた本市の生涯学習の成果を、県内外に情報発信していくため実行委員会を結成し、市民の参画を得ながら事業に取り組んでいきます。

■駅伝で邑久中学校女子が全国大会に出場

11月24日、倉敷スポーツ公園で岡山県中学校駅伝競走大会が開かれ、邑久中学校女子が従来の記録を大幅に塗り替え、大会新記録で優勝を果たしました。

男子は惜しくも3位でした。女子は昨年度に続いて2年連続、13度目の栄冠をつかみ、12月16日に山口市である全国大会に岡山県代表として出場



いろいろなスポーツにチャレンジ!